

**2013年3月期  
第2四半期決算説明資料**

**2012年11月2日  
株式会社IHI**

# 2013年3月期 第2四半期連結決算の概要

2012年5月8日公表 業績予想

(億円)

	'11年度2Q		'12年度2Q	増減
受注高	6,242		5,890	▲ 351
売上高	5,259	5,800	5,649	▲ 150 390
営業利益	190	100	145	45 ▲ 45
経常利益	135	50	116	66 ▲ 19
税金等調整前 四半期純利益	95		216	120
四半期純利益	50	110	118	8 68

特段の記載がない限り、各項目の数値は億円未満を切り捨てて表示している。

# 営業外損益及び特別損益

(億円)

	'11年度2Q	'12年度2Q	増 減
金融収支	▲ 8	▲ 9	▲ 1
為替差損益	▲ 34	▲ 25	9
持分法による投資損益	2	5	2
その他	▲ 15	0	15
営業外損益	▲ 55	▲ 28	26
特別損益	▲ 39	99	139

'12年度2Qの特別損益(99億円)の主な内訳 : 固定資産売却益 138億円  
 投資有価証券評価損 ▲38億円

# セグメント別 受注高

(億円)

	受 注 高		
	'11年度2Q	'12年度2Q	増 減
資源・エネルギー	1,220	1,421	201
船舶・海洋	420	987	567
社会基盤	1,442	343	▲ 1,098
物流・産業機械	816	772	▲ 44
回転・量産機械	837	811	▲ 26
航空・宇宙	1,388	1,332	▲ 56
その他	522	540	18
調整額	▲ 407	▲ 319	87
合 計	6,242	5,890	▲ 351

# セグメント別 売上高・営業利益

(億円)

	売上高			営業利益		
	'11年度2Q	'12年度2Q	増減	'11年度2Q	'12年度2Q	増減
資源・エネルギー	1,320	1,418	97	▲ 5	18	24
船舶・海洋	845	743	▲ 102	51	41	▲ 10
社会基盤	487	411	▲ 76	35	10	▲ 24
物流・産業機械	538	808	269	▲ 2	32	34
回転・量産機械	789	819	29	57	15	▲ 41
航空・宇宙	1,190	1,396	205	54	62	8
その他	522	491	▲ 30	17	11	▲ 5
調整額	▲ 435	▲ 438	▲ 3	▲ 17	▲ 48	▲ 30
合計	5,259	5,649	390	190	145	▲ 45

# 営業利益の前年同期比増減要因(セグメント別)

(億円)

	売上高の 増 減	工事採算 の変動	資材費の 変 動	為替の 変 動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー	<b>13</b>	<b>22</b>		<b>3</b>	<b>▲ 14</b>	<b>24</b>
船舶・海洋	<b>▲ 11</b>	<b>▲ 10</b>	<b>6</b>	<b>▲ 1</b>	<b>6</b>	<b>▲ 10</b>
社会基盤	<b>▲ 20</b>	<b>▲ 10</b>	<b>1</b>		<b>5</b>	<b>▲ 24</b>
物流・産業機械	<b>32</b>	<b>10</b>			<b>▲ 8</b>	<b>34</b>
回転・量産機械	<b>3</b>	<b>▲ 36</b>			<b>▲ 8</b>	<b>▲ 41</b>
航空・宇宙	<b>23</b>	<b>▲ 19</b>	<b>▲ 1</b>	<b>▲ 2</b>	<b>7</b>	<b>8</b>
そ の 他	<b>▲ 5</b>	<b>3</b>			<b>▲ 3</b>	<b>▲ 5</b>
調 整 額		<b>▲ 26</b>			<b>▲ 4</b>	<b>▲ 30</b>
合 計	<b>35</b>	<b>▲ 67</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>▲ 19</b>	<b>▲ 45</b>

セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

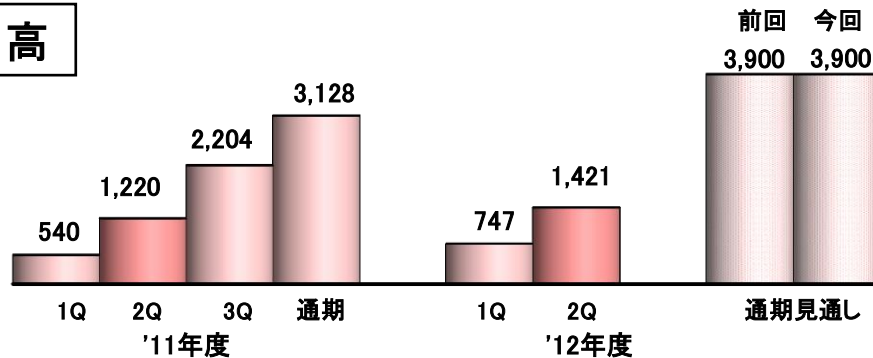
# 資源・エネルギー

(億円/各期の金額は累計)

主要製品:ボイラ, ガスタービン, 原子力機器, 貯蔵設備, 化学プラント,  
原動機プラント, F-LNG

前回:2012年7月27日公表の業績予想数値

## 受注高

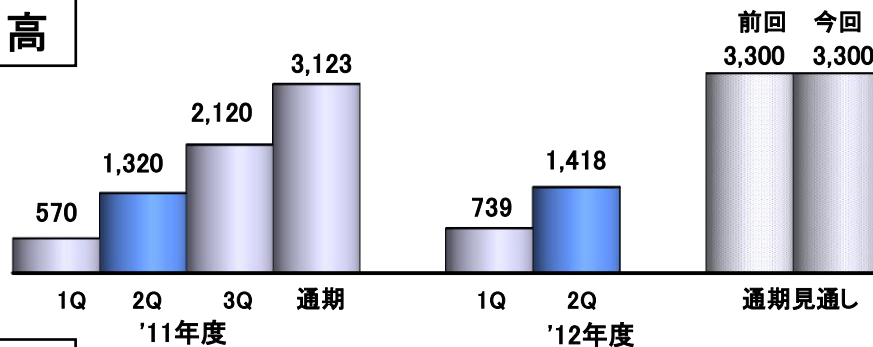


## <対前第2四半期 増減内訳>

### 【受注高】

ボイラが大幅に増加したため、前年同期比 +201億円(+16.5%)となった。

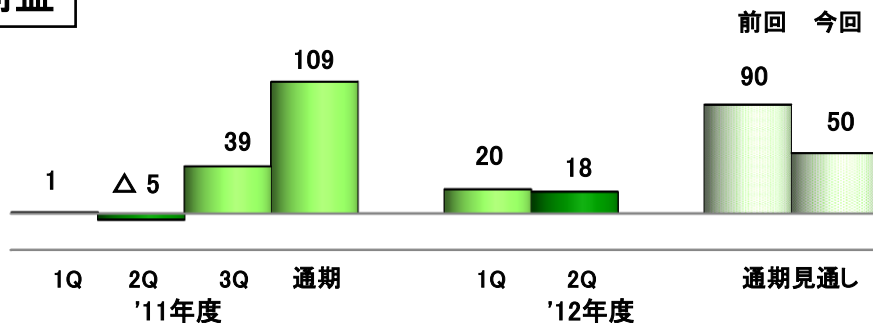
## 売上高



### 【売上高】

貯蔵設備, 原動機プラントで減収となったものの、原子力機器, ボイラで増収となったため、前年同期比 +97億円(+7.4%)の増収となった。

## 営業利益



## <通期見通し 対前回 増減内訳>

### 【営業利益】

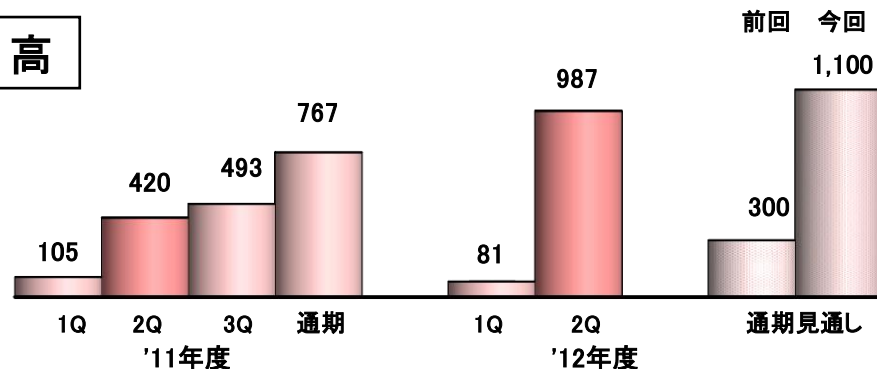
一部のボイラ工事で採算性が悪化したことなどにより、対前回比▲40億円の減益を見込む。

(億円/各期の金額は累計)

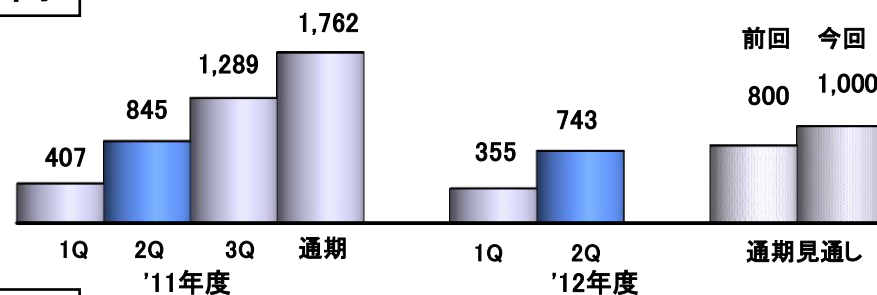
主要製品:新造船, 修理船, 海洋構造物

前回:2012年7月27日公表の業績予想数値

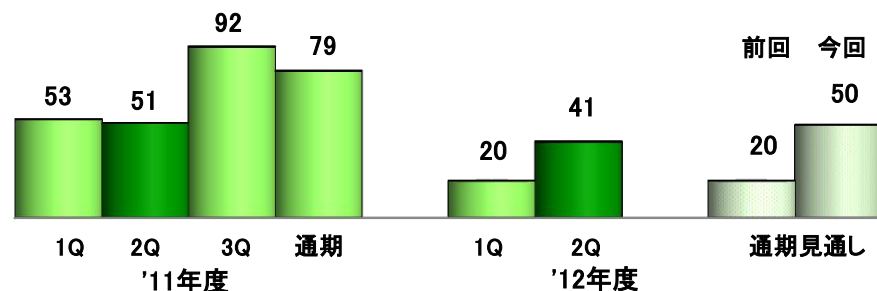
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

- ・新造船3隻の受注(タンカー1隻, バルクキャリア1隻, 艦艇1隻)により, 前年同期比+567億円(+135.0%)となった。
- ・前年同期における受注隻数は, 6隻(タンカー1隻, バルクキャリア5隻)であった。

#### 【売上高】

- ・新造船, 修理船が減収となり, 前年同期比▲102億円(▲12.1%)の減収となった。

#### 【営業利益】

- ・減収により, 前年同期比 ▲10億円(▲20.3%)の減益となった。

### <通期見通し 対前回 増減内訳>

#### 【受注高・売上高・営業利益】

第2四半期までの実績と, 統合予定日を2012年10月1日から12月1日に延期したことによる影響を織り込み, 対前回比で増加を見込む。

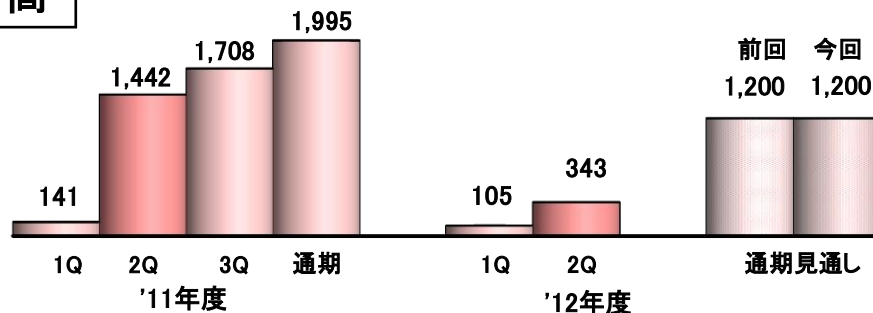


(億円/各期の金額は累計)

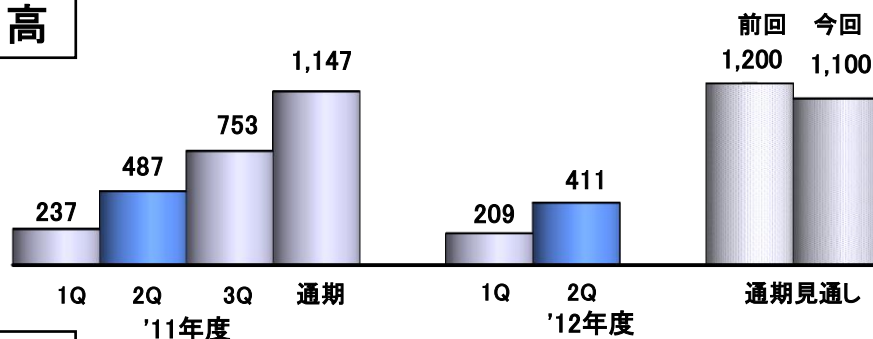
主要製品: 橋梁, 建材製品, 船用機械, シールド, 不動産販売・賃貸

前回: 2012年7月27日公表の業績予想数値

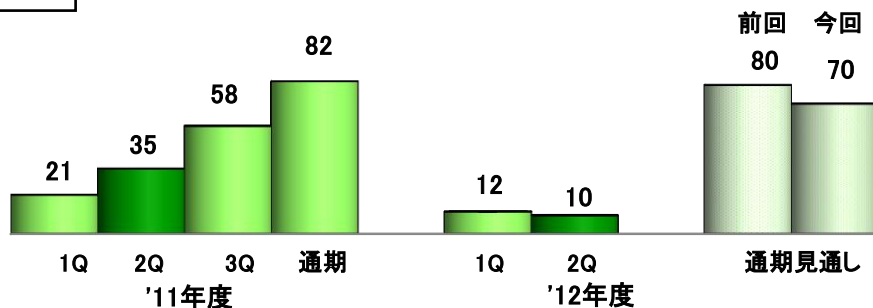
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

橋梁で前年同期に大型案件(イズミット湾横断橋: トルコ)を受注した反動により, 前年同期比 ▲1,098億円(▲76.2%)となった。

#### 【売上高】

船用機械, シールドの減収により, 前年同期比 ▲76億円(▲15.6%)の減収となった。

#### 【営業利益】

船用機械, シールドの減収により, 前年同期比 ▲24億円(▲69.2%)の減益となった。

### <通期見通し 対前回 増減内訳>

#### 【売上高・営業利益】

イズミット湾横断橋の工事進捗の遅れ等により, 対前回比で売上高▲100億円, 営業利益▲10億円の減収・減益を見込む。

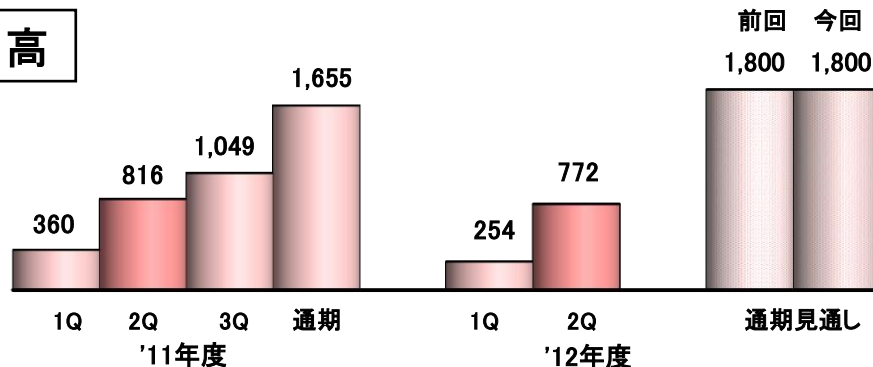
# 物流・産業機械

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 運搬機械, 物流システム, 駐車装置, 交通システム, 製鉄機械, 製紙機械, 環境装置

前回: 2012年7月27日公表の業績予想数値

## 受注高

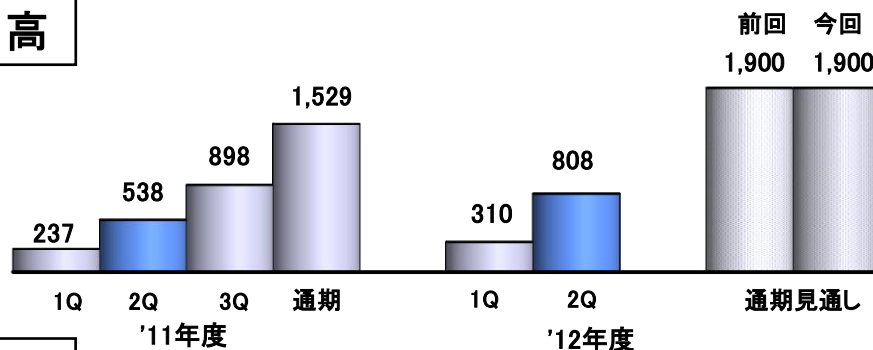


## <対前第2四半期 増減内訳>

### 【受注高】

製紙機械が増加したものの、製鉄機械、物流システムが減少したことにより、前年同期比 ▲44億円(▲5.4%)となった。

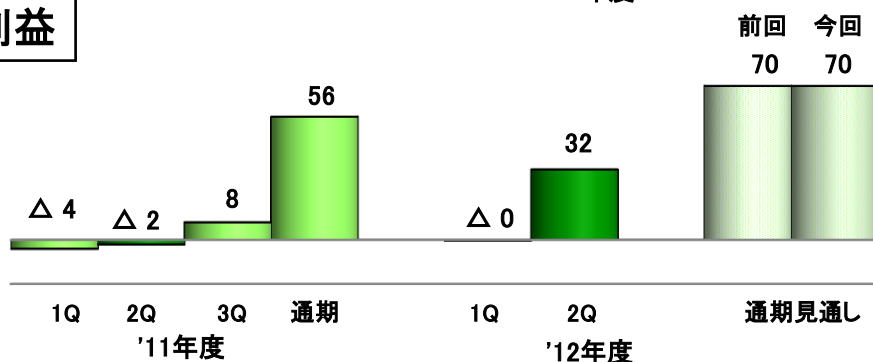
## 売上高



### 【売上高】

製鉄機械、物流システム、運搬機械の増収により、前年同期比 +269億円(+50.1%)の増収となった。

## 営業利益



### 【営業利益】

製鉄機械、物流システム、運搬機械の増収により、前年同期期比 +34億円の増益となった。

## <通期見通し 対前回 増減内訳>

変更なし。

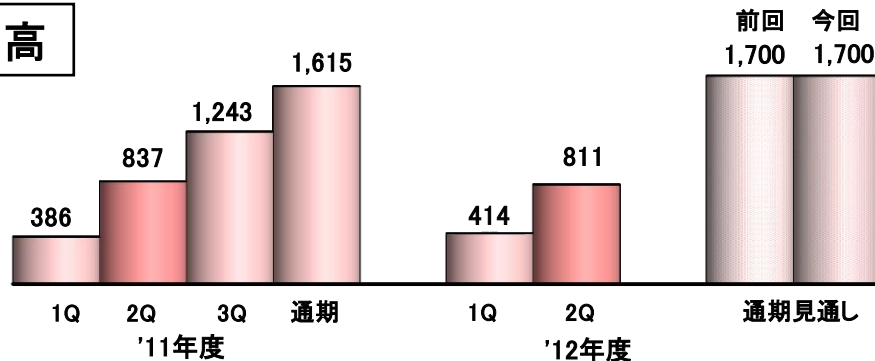
# 回転・量産機械

(億円/各期の金額は累計)

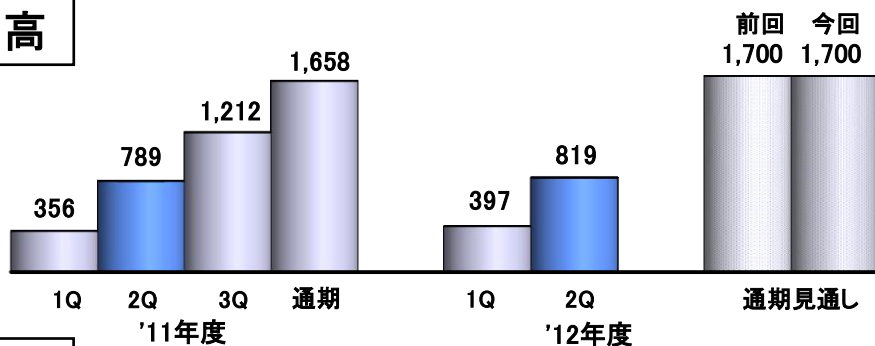
主要製品: 圧縮機, 分離装置, 車両用過給機

前回: 2012年7月27日公表の業績予想数値

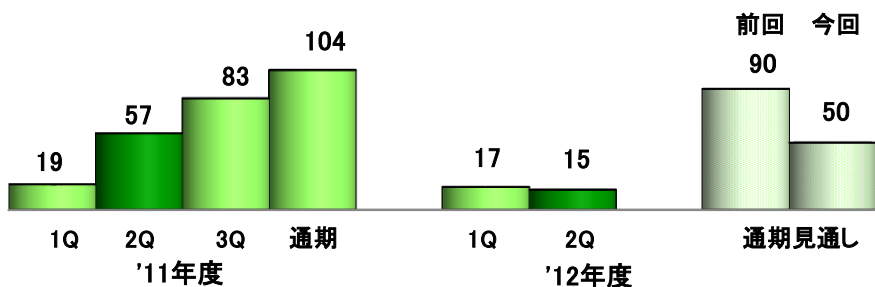
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

車両過給機で増加したものの、圧縮機、分離装置で減少したため、前年同期比 ▲26億円 (▲3.2%)となった。

#### 【売上高】

分離装置で減少したものの、車両過給機が増加したため、前年同期比 +29億円 (+3.8%)の増収となった。

#### 【営業利益】

分離装置の減収及び車両過給機の不具合対応費の発生、圧縮機の採算性悪化により、前年同期比 ▲41億円 (▲72.9%)の減益となった。

### <通期見通し 対前回 増減内訳>

#### 【営業利益】

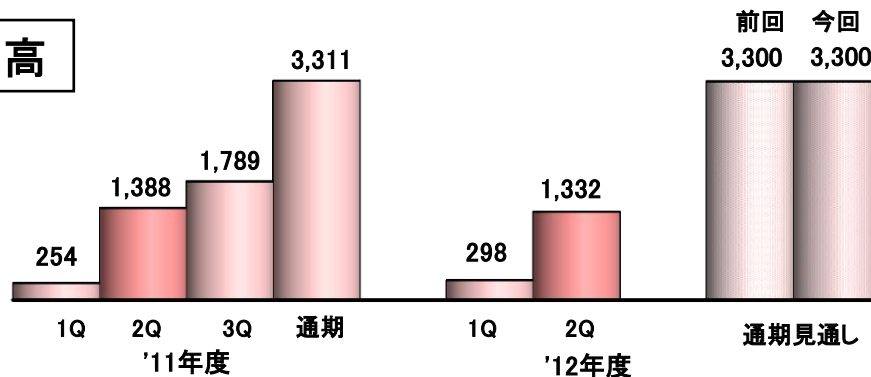
車両過給機の不具合対応費の発生などにより、対前回比で▲40億円の減益を見込む。

(億円/各期の金額は累計)

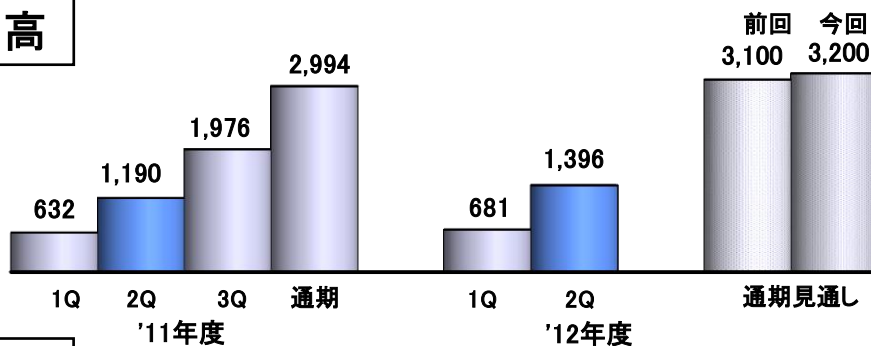
主要製品:航空エンジン, 宇宙開発関連機器, 防衛機器システム

前回:2012年7月27日公表の業績予想数値

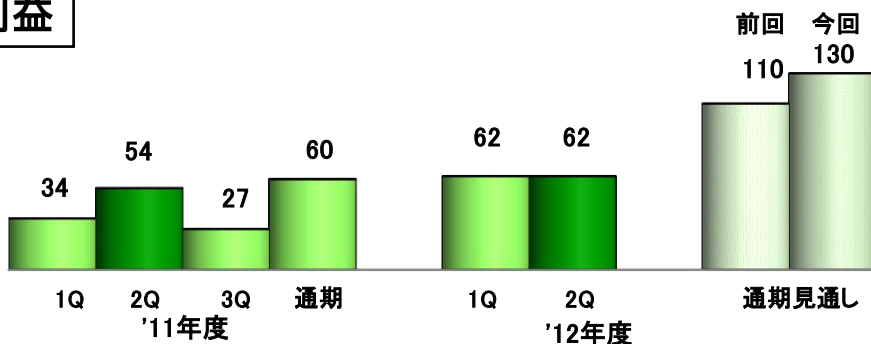
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

航空エンジン, 防衛機器システムで減少したため, 前年同期比 ▲56億(▲4.1%)となった。

#### 【売上高】

航空エンジン, 防衛機器システムが増収となり, 前年同期比 +205億円(+17.3%)の増収となった。

#### 【営業利益】

航空エンジン, 防衛機器システムの増収により 前年同期比+8億円(+15.3%)の増益になった。

### <通期見通し 対前回 増減内訳>

#### 【売上高・営業利益】

航空エンジンの増収・増益などにより, 対前回比で 売上高+100億円, 営業利益+20億円を見込む。

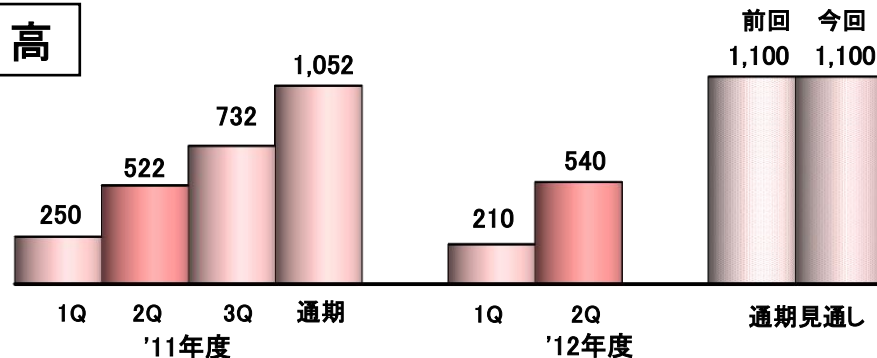
# その他

(億円/各期の金額は累計)

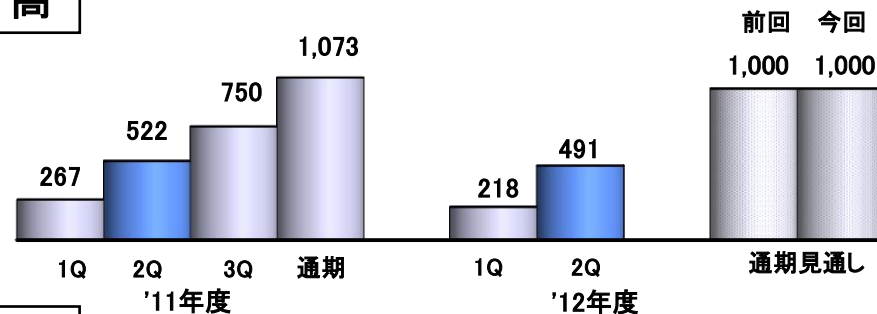
主要製品:ディーゼルエンジン, 農業機械, 建設機械, その他サービス業

前回:2012年7月27日公表の業績予想数値

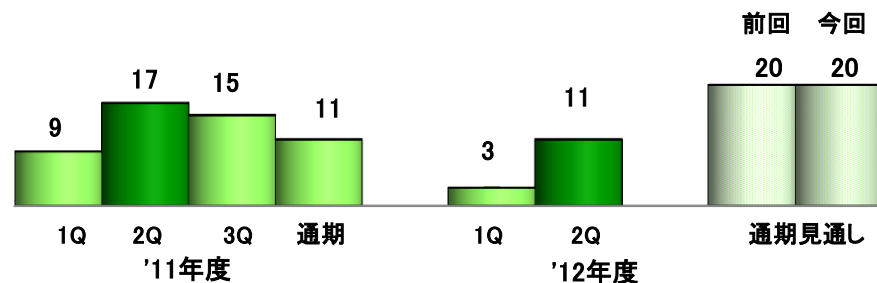
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

ディーゼルエンジン, 農業機械が減少したものの, 明星電気株式会社を新たに連結したことにより, 前年同期比 +18億円(+3.4%)となった。

#### 【売上高】

ディーゼルエンジンの減収により, 前年同期比 ▲30億円(▲5.9%)の減収となった。

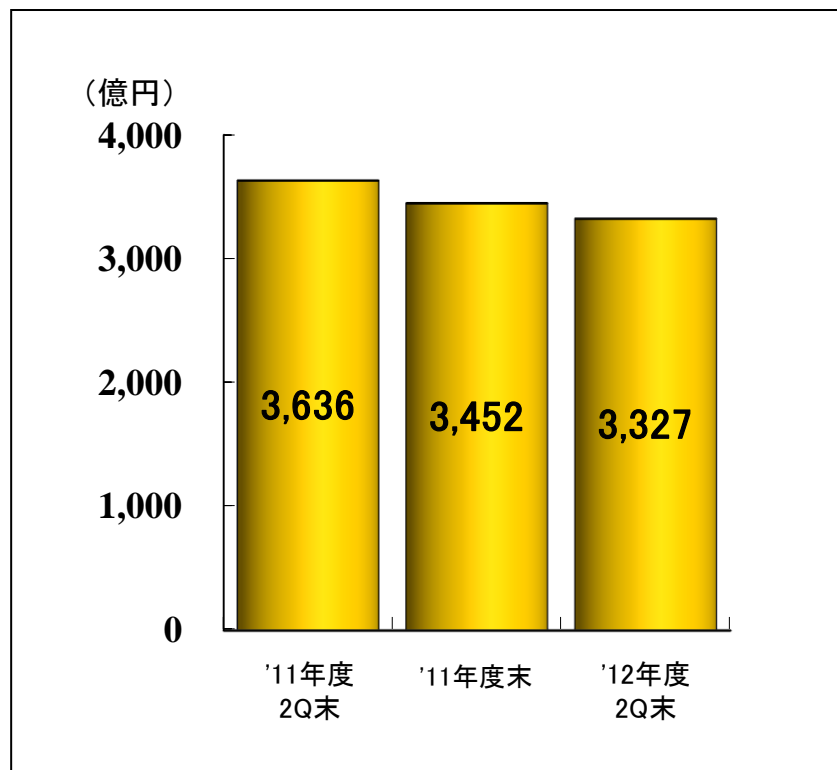
#### 【営業利益】

ディーゼルエンジンの減収により, 前年同期比 ▲5億円(▲33.0%)の減益となった。

### <通期見通し 対前回 増減内訳>

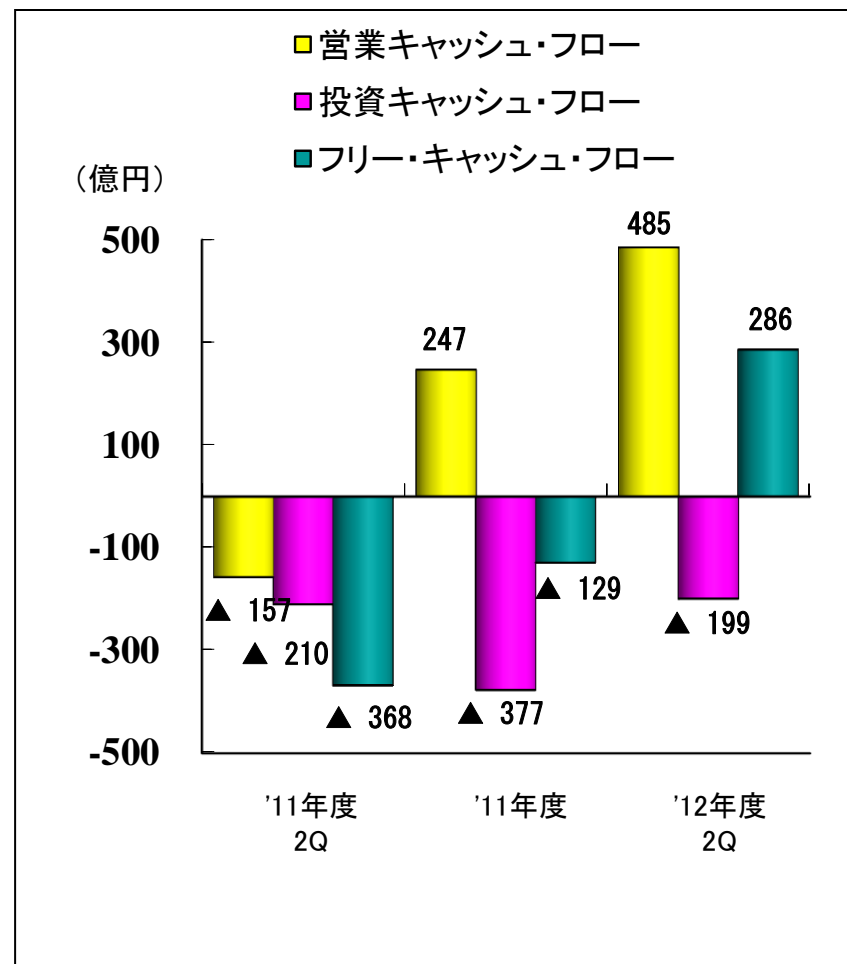
変更なし。

## 連結有利子負債



有利子負債残高には、リース債務残高('11年度2Q末: 137億円, '11年度末: 156億円, '12年度2Q末: 190億円)を含む。

## 連結キャッシュ・フロー



# 2013年3月期 通期連結業績見通し

前提為替レート  
(第3四半期以降)

米ドル 80円  
ユーロ 100円

(億円)

	前回見通し ( '12年度通期 ) A	今回見通し ( '12年度通期 ) B	前期実績 ( '11年度通期 )	増 減 B-A
受 注 高	12,500	13,300	12,696	800
売 上 高	12,200	12,400	12,218	200
営 業 利 益	400	350	433	▲ 50
経 常 利 益	300	280	417	▲ 20
当 期 純 利 益	250	190	238	▲ 60

# セグメント別 連結業績の見通し

前回見通し:2012年7月27日公表の業績予想数値

(億円)

	今回見通し			対前回見通し 増減		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
資源・エネルギー	3,900	3,300	50	0	0	▲ 40
船舶・海洋	1,100	1,000	50	800	200	30
社会基盤	1,200	1,100	70	0	▲ 100	▲ 10
物流・産業機械	1,800	1,900	70	0	0	0
回転・量産機械	1,700	1,700	50	0	0	▲ 40
航空・宇宙	3,300	3,200	130	0	100	20
その他	1,100	1,000	20	0	0	0
調整額	▲ 800	▲ 800	▲ 90	0	0	▲ 10
合計	13,300	12,400	350	800	200	▲ 50

(注)船舶・海洋事業については、統合予定日(2012年12月1日)までを見通している。



# IHI

## Realize your dreams

### ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。